

平成24年度学校評価結果分析と改善方策（生徒）

岩手県立宮古工業高等学校

1 回収率 95.8% (226/236)

2 総評(全体の傾向)

- アンケート全項目の評価平均は、3.03となり判定はBであるが、かなり高い値となった。比較対象とした平成20年度はデータとして確認できる最新のもので、その後の平成21～22年度までのものは津波の被害で流失している。また、昨年は他校での再開で、学校評価を実施していない。評価平均を平成20年度と比較してみると、全ての項目でプラスの評価となった。
- 特に[自分は、登下校の際、交通ルールを守っている][自分は、清掃にきちんと取り組んでいる][学校は、進路に関する情報をよく提供してくれている][進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている]ではA判定となった。今後も継続した指導や対応に心がけていかなければならない。
- 生徒指導や進路指導の項目では、3.0以上を示しておりおおむね満足されていると判断できる。
- 評価4の多い[自分は、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている][部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、活動は活発である]においては、厳しい評価の方がそれぞれ19名と28名おり、生徒の心の問題も含めて学校課題だと考えられる。

項目	番号	内 容	課 題	対 応 策 等
全体	1	学校の教育目標が説明されている。	B判定。およそ十分以上で69.7%で他の項目に比べて低い方である。ガイダンスの機会がない。	→ 年度始めのガイダンスや教育目標の教室等への掲示が必要である。
	2	先生は、熱心に生徒の教育活動を行っている。	B判定。83.3%である。不十分と答えた生徒への対応が課題である。	→ 継続指導個々に応じた指導（課外授業等）
	3	先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれている。	B判定。77.2%である。相談できる雰囲気づくりが必要である。	→ 生徒との信頼関係の確立、職員からの積極的に対話をする機会をつくる。
	4	自分は、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている。	B判定。82.9%である。17%の生徒は目標持てず生活している。	→ 個々に応じた具体的かつ将来的な目標の設定（進路・部活動・資格等）
	5	本校に入学してよかった。	B判定。75.5%である。一部の疑問に感じている不本意入学の指導が重要である。	→ 学校生活への不満の把握と支援個々にあった目標のアドバイス
	6	日課(授業の開始時間、終了時間等)は適当である。	B判定。84.6%の生徒は適当と感じている。	→ 継続
	7	本校には、他校にない特色がある。	B判定。84.2%でおおむね良好である。	→ 体験入学や各種発表会の成果本校のの特色は何か、具体的内容の把握とPR方法
学習	8	内容がわかりやすい授業が多い。	B判定。58.8%の生徒である。やや不十分の生徒が94名おり、わかりやすい授業を望んでいる。	→ 職員の指導法の工夫と見直し。（教材研究等）基礎基本の確立生徒の学習能力の把握
	9	学習の遅れがちな生徒にも親切に指導してくれる。	B判定。71.9%で、不十分生徒への対応を考慮しなければならない。	→ 個々に応じた指導（課外授業）確認テスト等での理解度のチェック家庭学習の励行
	10	多くの先生は、教材や教え方に様々な工夫をしてくれる。	B判定。71.5%である。満足していない生徒も多い。	→ 研修の充実（研究授業や授業法の情報交換）
特別活動等	11	ホームルーム活動は、クラス全体で自主的に取り組み、活発に行われている。	B判定。73.7%で71名不十分。自主的・活発に取り組んでいる生徒は約半数であった。中間層の生徒が多く、積極的に取り組んでいる生徒は少ない。	→ 各活動の目的と意義を理解させる。生徒が自ら考え、取り組む雰囲気づくりと工夫
	12	生徒会活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い。	B判定。66.6%。生徒会執行部は意欲的に取り組んでいるが、一般の生徒が受け身になっている。	→ 生徒会執行部と生徒との融合一般生徒の意見が反映させるような工夫と運営
	13	修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています。	B判定。87.7%で生徒は有意義と感じている。	→ 各行事の目的と意義を早めに周知し、全体で取り組む雰囲気をつくる。内容と運営の工夫
	14	性教育・薬物乱用防止講話など、命や人権を大切に教育が積極的に行われている。	B判定。83.3%である。おおむね良好と感じている。	→ 継続指導
	15	ゴミ拾いや老人ホーム訪問など環境や福祉などに関するボランティア活動が活発に行われている。	B判定。72.4%でやや自発的な活動が少ないと感じている。	→ 津軽石川原清掃の継続、ボランティア委員会の充実
	16	部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、活動は活発である。	B判定。78.1%で熱心に取り組んでいる生徒とそうでない生徒の2極化が進んでいる。	→ 顧問と生徒の密接な信頼関係構築。部活動の意義や大切さ指導
	17	部活動に関する施設・設備は十分である。	B判定。63.2%で不十分の生徒が多い。	→ 予算の問題なので継続的な県への依頼
生徒指導	18	生活の規律(遅刻や服装、ルール・マナーなど)に関する指導が適切に行われている。	B判定。85.1%で概ね適切であると感じている。	→ 継続指導規範意識や規範意識の高揚
	19	生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われている。	B判定。84.2%で概ね良好である。	→ 継続指導
	20	先生は、「良いことは良い、悪いことは悪い」ときちんと指導している。	B判定。83.0%で概ね良好である。	→ 継続指導職員の意識統一（ブレのない指導）
	21	自分は、礼儀正しい生活をしている。	B判定。82.5%で概ね良好である。	→ 継続指導あいさつは定着している
	22	自分は、服装・髪型規定を守っている。	B判定。86.0%で生徒は頑張っている。	→ 継続指導規律遵守の重要性指導
	23	自分は、登下校の際、交通ルールを守っている。	A判定。91.2%で生徒は凄く守っている。	→ 継続指導（交通安全講話・登校指導の実施）
	24	自分は、清掃にきちんと取り組んでいる。	A判定。91.6%で生徒は凄く頑張っている。	→ 継続指導校舎の愛護指導（汚さないこと指導）
進路指導	25	学校は、進路に関する情報をよく提供してくれている。	A判定。86.8%で高い評価をしている。	→ 各学年に応じた資料提供提供情報の活用指導
	26	進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている。	A判定。87.2%で高い評価をしている。	→ 継続低学年からの段階的な講演会等の実施
	27	将来の生き方や進路に関しての指導・面談が十分に行われている。	B判定。84.6%でAに近い評価をしている。	→ 段階的な進路指導、進路に関する個人面談の実
その他	28	学校は、保護者(親)と情報交換し、話し合う機会を設けている。	B判定。73.2%で生徒は頑張っている。	→ 学級通信の発行等、家庭との連携を密にする。
	29	学校から家庭への連絡や情報提供はきめ細かい。	B判定。67.5%でやや不足していると評価している	→ 色々な配布物で学校から情報発信する。
	30	施設や設備は充実している。	B判定。75.0%で概ね満足している。一部は不足。	→ 要望の把握
	31	教室、校舎、校庭の美化・清掃は行き届いている。	B判定。74.1%で概ね良好であるが、一部が足りないと感じている。	→ 美化強化指導